

中学通信

12月号 第45号

編集発行

安八郡輪之内中学校

PTA 会報委員会

印刷所 田中印刷興業株式会社

発行 昭和59年12月

進路の学習は……

まず自分を見つめ伸ばすこと！

自分の能力や適性を知るには……

- ・授業の中で
- ・友達づくりで
- ・部活動やクラブ活動から





“生涯設計ができる子”に育てよう！

— 生涯のみとおしをもつて —

学校長 河出俊雄

先日、経済企画庁が、人生80年の生涯収支試算を下記のように発表しました。

80才までの総所得	2億 678万円
80才までの実支出	1億 8,136万円
生涯で残る金	<u>2,542万円</u>

35才で新居をローンで購入した場合、返済利息等を考慮すると、生涯収支総決算は、257万円の黒字となり、その257万円が、人生の豊かさや、うるおいに使えるのではないかと分析している。

一方、今の経済の産業構造は、世界貿易に勝ちぬく為に、多品種少量生産方式をとり、生産管理も一段と厳しくなっている。そのため、季節的、時期的に生産調整を必要とする仕事は、日雇い、アルバイト、パートタイマー等によって労働力をまかない、更に、将来こうしたことが拡大されていくだろうと予想される現状である。

以上のようなことを考えた時、中学生時代に、ぜひ“生涯

のみとおしをもつて、生涯設計がたてれるような能力、身につけさせてやりたいと願うのです。これは、男だから、女だからという問題ではありません。やがては、お互いに助け合い、考えあって生き抜いていかねばならぬ立場になるのだから……。では、生涯設計ができる子を育てるには？

- ① 世の中の出来事についての対話を毎日もつこと。
 - ② 因果応報の理（人の行いや、考えの善悪に対して、必ずそれに応じた結果があること）を事あるごとに諭して、心にしみこませること。
 - ③ 人生は、金の収支だけではない。人間性だ。仕事への愛着だ、自己実現だ、等色々考えていかねばならぬ大切なものがあることに気づかせていくこと。
 - ④ 正しい経済感覚を、今の家庭経済の実態を話すことによって実感としてわからせていくこと。
- このような面から、自立への厳しさとその素地づくりを考えてみてはと思っています。

こんなにもがんばったよ

夏休み郡読書感想文入賞者

3の1	伊川 晃
3の1	川瀬 英夫
3の2	河合 晋
3の2	内堀 美和
3の3	丹羽としえ
3の3	吉安さおり

英語ヒヤリングテスト優秀者

1の1	辻 弘明
	森 芳和
	山内 宏美
	山内由美子
1の2	伊藤 真樹
1の4	小沢 里子
2の2	荒川 綾子
	大橋 徹
3の1	松尾 三枝
3の2	小沢 和子
	内堀 美和
	北川 智勝
	片野 孝行
3の3	丹羽としえ

科学作品展入選者

県入賞・郡入選	大根おろしと消化作用について
郡入選	2の1 小川 雅子
	水・熱の吸収 3の1 荒川 悅子
	洗剤による川の汚染度（共同作品）
	3の3 片山早苗, 加藤喜子, 水野かおる, 服部郁子
郡努力賞	水の実験 3の2 伊藤 由香
	光合成について
	3の3 丹羽としえ
	アリの研究 2の2 朝倉 明義
	紙の強さ 2の3 衣斐 重樹
	かたつむりの観察
	2の3 中島 千春
	布の乾き方 1の1 松村千代子
	こまの研究 1の2 松岡 伸治
	水中にすむ生物（共同）
	1の3 市橋孝浩, 中島 崇
	レモンの研究 1の4 片野 裕子
	物質の特性 1の4 岡山 悅子

郡中体連 夏期大会

優勝	団体	柔道部
準優勝		野球部
準優勝	団体	卓球男子
1位	柔道	金野 貴雄
2位	柔道	田中 利幸
3位	柔道	渡辺 弘明
3位	柔道	古田見佐枝
2位	卓球	丸藻ひとみ
3位	卓球	辻村二三恵

西濃大会 夏期大会

2位	200m	大橋 一夫
ベスト8	柔道	渡辺 弘明

24秒5で200m 2位に

3年 大橋 一夫
2位ではあまり満足できませんでした。それは、1位との差が0.1秒だったからです。これが1秒もあればしかたがないと思うのですが、0.1秒では2位でも満足できませんでした。それと、新記録まであと0.2秒だったのでとても残念でした。

一年のつばさ

関ヶ原青少年自然の家ハイライト

思わず3杯も食べた！

1年1組 松村千代子

私が一番心配したのは、野外炊飯でした。火のかげんはうまくいくか。御飯やカレーはおいしくできるか。こげたりしないか。でも、説明を聞いていたら、だいぶ自信がついてきました。私の係は、準備係でした。内容は、食台つくり、お茶の準備、食器洗い、飲み物の配布などでした。

まず、テーブルをつくり始めました。近くにあった木を組み合わせ、その上に白いテーブルを置いてできあがりました。でも、問題がいきました。かっこよくいかないのです。しかたなく、まがっている木にしました。これで、食台づくりは終わりました。

お米を火にかけて少したってから、カレーの中味がきました。お肉、玉ねぎ、じゃがいも、なにかものたりないなと思ったら、人参がありませんでした。ちょっと残念に思いました。でも、そのかわり、お肉は山盛りにあったので、うれしかったです。

さて、御飯もカレーもできあがり、あとは食べるのを待つだけです。御飯は、灰が飛んでいるのを、承知しながら盛りつけたので、少しだけ灰がついていました。お皿は少しさめだったけど、たくさん盛ってもらいました。「いただきまーす。」ひと口パクリと……。その味のおいしいこと、おいしいこと。おもわず、8杯も食べてしまいました。

絶対ミスはできない磁石係でした

1年2組 伊藤真樹

ぼくが、関ヶ原青少年自然の家の研修で、一番心に残ったことは、ポイントオリエンテーリングです。各ポイントに書いてあるアルファベットを見つけながら行くという、かなりきつい競技です。

ぼくたちは、19番目にスタートしました。ぼくは、磁石係だったので、絶対ミスはできません。地図係の川瀬君の指示に従って、磁石を合わせました。最初のうちは調子良かったけど、途中からM君とS君が遅れました。しかし、ぼくたちは、お互いに励ましあって、歩いたり走ったりしました。1回だけ道を間違えて、後の班に抜かれたけど、成績は堂々の4位でした。ぼくはもちろん、みんなも満足できる成績だったと思います。

消灯時間が守れなかった私たち

1年2組 吉田淳子

「とてもつかれた。もう行きたくない」というのが私の一番の感想です。しかし、私が関ヶ原に行ったのは全部で3回ですが、行きたびにいろいろなことを学んできました。

むこうでやることがもうきまっているので、時間をきちんと守るということ、集団生活の中でのいさつをきちんとすること、使った物はちゃんとかたづけ、来た時よりも美しくすることなど、いろいろなことをちゃんとやらなければなりません。

せんでした。私が思うには、あいさつはちゃんとできたり、そうじもだいたいできたと思う。しかし、時間を守るということで消灯時間が守れずめいわくをかけてしまったと思います。係の仕事などは、みんないっしょにけんめいやっていました。関ヶ原に行って注意すべき点をなおし、これからの学校生活をよくして行きたいと思いました。

班長は、つらいよ！

1年3組 大塚千寿生

一番の思いでというのは、カレーをつくったときにカレーシュになってしまったことで、ごはんはなかなかのものだったが、カレーのほうは水をいれすぎたし、玉ねぎは大きくて、まずくてたべられないし、ジャガイモは大きくなりすぎてなかのほうが固くて、まずくたべられたもんじゃなかった。そのあと、ぼくははらかいたくなったり、次の日もちらがいたかった、ひさんだった。

自分の係活動では、夜ねるときのみんなが、がやがやわあわあやっていたので、そのひがいをうけて「はんちょうもでてこい」といってよびだされてしかられたときは、はっきりいって「はんちょうなんかななるんやなかった」と思ったが、二日目の野外すいはんのときは、はんちょうだからべつに係がなかったので、ジャガイモ・肉・玉ねぎなどをきったり、ごはんをたいたり、カレーをにたりすることはすこしはてつだったが、べつにめちゃくちゃでいねいにやらなくてもよかったですのがらくだった。

カレーのごはんはなかなかのものだったが、カレーのほうはさいしょに水が多かったせいで、カレーシュになってしまったし、ジャガイモや玉ねぎを切った者がへたくそだったので、でっかくてまずくてたべられないものがたしょでてきたので、たべづらかったのがまちがいだった。

はんちょうとして、ねるときちゃんとちゅういすることのできたのが一番よかったと思った。

ドキッ！ドキッ！ 友達っていいもんだなあ

1年4組 棚橋嘉大

「ドキッ、ドキッ。」心臓の音が高くなっていく。ぼくは入所式のあいさつをしなければならない。一生けん命口づさんだ。司会者の先生が、「入所の言葉、生徒代表」とおっしゃった。台に近づくにつれ、みんなの視線がこっちをむいてくる。

礼をすると、パチパチと盛大な拍子が聞こえた。

みんなの顔を見ると、益々きんちょう。覚えた通りのあいさつをいい始めた。

「待ちに待った。1泊2日の合宿…………」あまりきんちょうしすぎて、さっきまで覚えていたことを忘れててしまった。けれどなんとかして思いだし、終った。席へもどる際、一步歩くたびに、肩の荷がおりていく感じだった。

いすに座ったら、となりにいた子が、「少しぎらいまちがえたって気にせんでもいいよ。」とほげましてくれた。とてもうれしかった。友達っていいもんだなあと思った。

また、二日間の活動をおえても、一番印象に残ったのは、ある友達のことだった。それは、「ポイントOLで優勝をしよう」と、自分でも苦しいのに友達のことを気づかい、先に先に走っては、記号を見てきてくれる子がいた。

ぼくは、いい仲間達と、やさしそうな所員の先生方、そして自然にかこまれて1泊2日の合宿を有意義に過ごした。

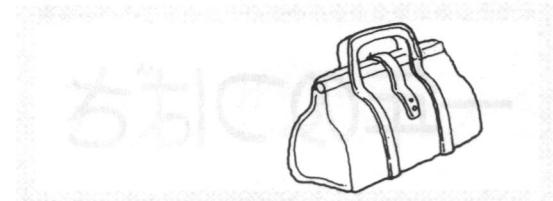
「またこういう合宿があるといいなあ。」



“美”の最高峰 日光！

2年2組 河合 優佳

『日光を見ずして、結構と言うな、と言われたのは、ごもっとも。『結構』のサンブルはサン然と輝く豪華な陽明門。一本切れれば約50平方メートルの家一軒の用材を全てまかなえるという巨木が続々立ち並ぶ杉並木。日光は『美』の最高峰だと私は思う。久能山東照宮に一度訪れたことがある。細かな彫刻。どの方向から見ても形が変わらない屋根。巧みな造り。あつとうされるばかりだ。陽明門には白い柱が八本使用。そこに『さる』を略した記号のようなものがきれいにそろって模様のように彫刻してあった。だが門をくぐって後ろからながめ、右から二番目の柱がおかしなことに模様が逆になり柱が逆にしてあった。どんな考え方でこの柱を逆にしたのか。飾りかな？それにしては一本というのはおかしい。まよけかな？いや、やっぱり失敗したのでは……。頭がパニック。するとガイドさんが「これはわざと逆にしたもので、あまりに陽明門が立派すぎてはいけない。一つくらい欠点をもっておらなければと考え、逆にしたものです」と。『なるほど』と何度も頭を上下にふった。ここに『美』というものが含まれているのか。何でも『完璧』というのは美しすぎて、まぶしすぎて、初めはすばらしいって思うけど、次第に『あき』というものがくると思う。そして美しさ、そのものの魅力もなくなってしまうのではないかのではないだろうか。人間にしても一つも落度がないなんて、機械みたいで魅力にかけ心がないようにみえる。昔の人は、ここまで考慮していたのだろうか？。『美』とは欠点をどう生かすかが問題なのではないか？そうみれば陽明門はま



さに心を持ち、生きているといえるだろう。人工美の最高峰といえる東照宮。それは人の心、考えが最高にこもっているからこそそういうのだと思う。

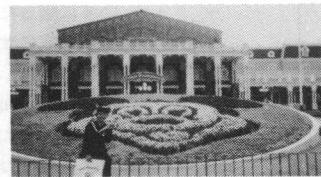
また、華やかさばかりに目を向けていてはダメ！質素で寂しい感じがするけどそこに美しさを秘めた自然。巨木がつらぬいた杉並木。その太さ、大きさ、本数。全てが立派で貫ろく満点。自然は数年で完成するものではない。百年、二百年という年月を経てここに至る。そこに自然美の重さ、美しさが感じられると思う。ある大名が將軍に献上物を出すときにその大名はお金がなかったため、高価なものは献上できなかった。そこで考え、杉の苗数万本を献上し、植えたという。それがこの杉並木だ。私はその大名の心を尊敬する。質素なためついとおりすぎてしまいそうなもの。それが自然だ！緑、茶、はでなものを持たない。人工美と対照的だ。人間の力ではできないものをもっている。人工美は色がはげれば、ぬればよい。しかし自然はそうはいかない。手伝ってくれるものもない。人の力では、なおすことのできないのだ。決して人をよせつけない。そんな厳しい中、三百年生きてきた杉並木。人間にはまねのできない偉大さをもっている。飾らない。ありのままをむきだしにした姿が人をひきつけるのではなかろうか。自然美の魅力はそこにあると思う。こうした二つの美をもつ日光。人工美は女性的。自然美は男性的。と私には感じられる。二つの美がうまく調和したすばらしい所だと思う。私は思う。

「日光を見ずして、一生を終えるな」とー。

すばらしかつたディズニーランド

2年3組 浅野 ゆかり

修学旅行最後の日がきてしまいました。だれでも修学旅行でいちばん楽しみにしているのが3日目に行くディズニーランドです。私も朝からとてもわくわくしていました。東京を出るとすぐディズニーランドにつきました。集まっていると、掃除をしている人がいました。とてもなれた手つきで、すばやくゴミをちりとりの中に入れていました。私はこの人はこれが仕事なのかなと思いました。中に入ると早速乗り物に乗りました。あまり時間もなかったので、ほんの少しあく乗れずに買い物に行ってしまいました。買い物などの所は何もかもがミッキーマウスのもので、かわいいものばかりでした。結局、スペースマウンテンには乗れず、乗ったものはジャングル・クルーズ、カリブの海賊、スカイウェイ、ツア・ア・スマールワールド、ホーンテッドマンションぐらいでした。その中でもいちばん楽しかったのが、ジャングル・クルーズです。その運転しながらし



やべる人がまたおもしろくて楽しかったです。ホーンテッドマンションは、999の幽靈がいるといって、少し怖かったです。でも、ディズニーランドで働いている人たちはとても楽しそうに仕事をしているし、熱心なのでうらやましいです。私もどうせ働くんだったら楽しい方がいいです。でも、よく見直してみると、一生懸命に働くということはすばらしいことだなあと思いました。私は修学旅行に行ってとてもよいことを学んだと思います。

きっと修学旅行の思い出は、一生忘れない出来事だと思います。いつか大人になって思い出すと、先生といろいろ言い合ったこと、ディズニーランドに行けたこと、いろいろな人にめぐり会ったこと、どれもみんなすばらしい思い出ばかりです。私は、この思い出をいつまでも忘れないために、心にしまっておきたいです。

三年のLife



11/2 町音楽会

—— 3年の歌声が響く —— 精いっぱい歌って……スッキリ !!

「ラ・ラ・ラ・ララ……。流れゆく、雲のかなた……」プロムナードと若い翼は。11月2日の音楽会まで3年生111人が幾度も練習を重ねてきました。本番はあっという間に終わってしまいました。精いっぱい歌いました。今まで胸につかえていたもやもやがどこかへ飛んでいったような気がしました。中学校生活のいい思い出になりました。(伊藤和智)

11/3 新庁舎赤じゅうたんの議場で 第1回子供議会開かれる

*議席番号1番 加藤喜子

鶴の森地区的見直しと利用について

参事さんは、私達のことを考えて話しをして下さいました。

*議席番号2番 田中美恵子

里・南波地区の工場誘致と自然保護について

町長さんのご答弁によって、現在の輪之内の産業・経済の様子がよくわかり、たいへん勉強になりました。

*議席番号3番 西松由美子 梅林の名所と名物づくり

私の質問に対して総務課長さんは「ぜひ作りたい」とおっしゃいました。梅林ができるのを楽しみにしています。

*議席番号4番 渡辺弘明

仁木地区の工場誘致及びその産業について

さすがに、町長さんは違うなと感心した。

*議席番号5番 内堀美和 大樽川の現状と対策について

今までくわしく町のことを考えたことがなかったのすごくよい経験になりました。輪之内町民などと改めて自覚しました。

*議席番号6番 伊川晃

大樽地区畠地の利用、輪之内の特産物について

予算は何についても関係してくる。一つの物事を決めるにも、たくさんの問題が生じるので、なかなか事が進まない。

*議席番号7番 毛利満 防災訓練について

輪之内町の防災訓練は、3年に1度ずつ行われて万全な政策をとっていることがわかりました。

*議席番号8番 近藤潤一 老人福祉の町づくり

自分たちの知らない所で、老人福祉についてのいろいろな政策がとられていることを知ってビックリしました。

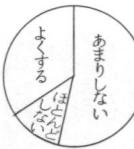
進路コーナー

きびしい！ すごい！

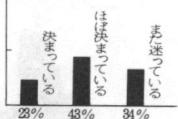
10/25学年P研5行日記

今日のP研の話を聞いてどの高校も部活や勉強がきびしいんだなあと思った。先輩たちはすごい！ (棚橋隆美)

・自分の進路は… (16現在)



・進路について
父母との
話し合いは…



*議席番号9番 北川智勝 青少年の健全育致について
本当の議会を行って、議会というものは、順序というものがあって、なかなか難しいものだと思った反面、このようなすばらしい議会を行なえる輪之内町を、改めて見直した。

*議席番号10番 三浦啓次 スポーツ施設について

ぼくは、議会を行って、役場はとっても重要な役割を果たしているんだなと再認識しました。スポーツ施設は、町民の健康と、健全な精神を養うためにもぜひ作ってほしいです。

*議席番号11番 中島理恵 旧役場の利用について

こうしたらしい、こうしたほうがいいと私たちは簡単に考えていたが実行するにはかなり難しいということがわかった。

*議席番号12番 片野孝行

郷土の文化財と年中行事についてと地名、小字名の収録と由来の研究について。これを質問すると教育長さんは、一応そうすることを考えるとおっしゃった。

*議席番号13番 吉安さおり 町民センターの利用について
くわしく説明していただき、町民センターが町民全員で利用できるものになれば……と思いました。

*議席番号14番 浅井寿弘

臨時議長で議長席に座った時、自分が偉い人になったような気持ちがしました。左右には町担当の方々がみえるので、緊張して口がまわりづらい時もありました。

*議席番号15番 河合晋 議長席にすわって……

落ち着いて言えました。この議会に出席して、いろいろ経験しましたが、本当に自分の為になったと思います。将来町議員になって、この席に座ろうかと思いました。

*議席番号16番 近藤順二

副議長は、議長の代理でしたが、経験を積むということで河合君に半分交替してもらいました。このすばらしい経験を将来に役立てたいと思っています。

◎傍聴者の声々々……(生徒 男11名、女12名)
・見はらしがよかった。・参加気分を満喫。・すぐく緊張。・議会のやり方がわかった。・すばらしい行事、毎年やってほしい。



体育祭

9. 21

'84 跳動



青く熱く燃えた！

青団 3の2 浅野秀光

今年の青団は、全員が熱くもえた。そして、我々はある一つの目標に向かってやった。それは、「優勝」という言葉だった。それに協力してくれたのは、青団全員だった。よくやってくれたと思う。だから、青団は優勝したのだ。と思っている。そして、全員がよくがんばってくれた。いや、自分を助けてくれたのだ。団結！協力！アイディア！ほんとに、よくやってくれたと思う。チアガールは朝早くきて、放課後おそらくまでやってくれた。『ありがとう』

最後に、こんな自分が優勝旗をもらいに行けるようにしてくれて、ほんとうにありがとう。

真っ赤に燃えた！

赤団 3の1 木村 真

前半をなんとか2位でおりかえし、だれもがひょっとしてもう…と思い始めた。そして、最後の応援合戦。このままではいけない。赤団最後のいじをみせねば。この3週間、時には笑い、もめあい、そして絶望感、しかし、ぼくらはやってきた。ここまで精いっぱい応援練習をやってきた。今ここでがんばらなければ、今までの成果を見せられない。

「最後だ、がんばろうぜ」応援団はもちろん、赤団全員への最後の言葉。その応援を勝ちとった時の感激は忘れない。今となれば何もかも楽しい思い出に感じる。これはみこしを作った人も同じだ。みこしも一時は完成が危ぶまれた。がみこしも勝利。最終成績は2位。でもぼく達3年にくいは残らないし残さない。そして、一二年は来年をめざせ。可能性はまだある。ぼくが中心となってきた応援。この応援団にぼくは学んだ。「あきらめる」なんて言葉はいらないということを。



白熱して燃えつきた！

白団 3の3 浅井寿弘

『応援、をするといつてもやはり、他の青団・赤団よりも目立ってカッコイイ応援をしたいと思う。しかし考えがなかなか出ず、いたずらに日はすぎていくだけだった。それで体育祭数日前は、夕方おそらくまで応援について考える日があった。果たしてうまく出来るのだろうかという不安が心の中にあった。

とうとう体育祭のメインイベント応援合戦の時が来た。前半は8位という結果だった。そのため後半はなんとかして1位をとりたいと思った。ピストルの音が空にひびき、真剣な顔をして運動場に走りこむ。「もうこれで終わりなんだ」という気があり前半にも増して緊張する。応援している時は無我夢中で団員の声なんか耳に入らなかった。7分間という時間がとても短かく感じた。結果は2位。1位をとれなくてくやしい気持ちもあるけれど、みんなが団結してひとつになって燃えつきたことができたのでよかったと思う。



PTAの広場

我が子の適性を

見いだし伸ばせる親に



PTA副会長 牧野征一

中学生にとって避けて通れぬ過程に進路と云う問題がある。楽しいはずの中学生生活が進学だけに重点を置いた勉強になりやすい感がする。子供にとっても親にとっても大変な時期である。

私は人間の価値は健康であること、誠実であること、勤勉であること、向学心を持つことが大切であると思う。

最近の子供は、親の干渉のしすぎで自分一人では何も出来ない無気力な子供が多いと云われる。部活に積極的な参加とか、家事の手伝いをさせることで、我が子の適性を見い出し

伸ばせるように親も指導したいものである。

子供達も自分が将来やって見たいこと、成って見たい目標に向かって失敗を恐れずに挑戦してほしい。失敗は成功のはじまりということわざもある。

それが中学生活であると思う。そして自分自身で進路をきめてほしい。

そして社会に出ても、お互いに理性と協調性の持てるような人間になってほしいものである。

学年PTA研修会の報告

親の生きざまが子供の手本に

1年学年代表 青木敏宏

授業参観、全体会、学級での話し合い等に約3時間、子供達の学校での姿を見聞きし、家庭教育のあり方を研修した訳ですが、校長先生の進路についての話で「親の仕事に対する子供の作文」を紹介されました。その中で特に感じられるのは、子供の目は非常に鋭く親のなにげない言葉、毎日の生活態度をよく観察していることです。「あ～つかれた。給料が安い。仕事が面白くない……」。誰でも日頃の不満が口に出る言葉ですが、そんな親の態度では、親の仕事に対する考え方方に不信感をいだき、進路に迷いが生まれると思います。我々はもっともっと職業に対する考え方をしっかりと持ち、生きざまを子供達に真剣に教える必要を感じました。将来を託す子供達の進路も、我々親が手本だということを忘れないようにしたいものです。



子供の決めたきまりを 親も守って

2年学年代表 荻巣八重子

第2回2学年PTA研修会は、授業参観の後、修学旅行について話し合いました。子供達が修学旅行で、世の中を見る、聞く、知ることによって、社会とのつながりを持ち、よりよい思い出をつくることで、心に大きな財産を持つことを念じ、各係（班長、学習、生活、保健、美化）で十分検討し、決定したきまり（小遣い、服装等）を、私達親も守るよう、確認しました。

我が子の旅立ちへの期待…………。

多数の父兄の参加、協力を厚く感謝します。

10月25日 3年P研報告—3高校説明会—

職場や高校をよく調べてから 進路を決めよう

3年学年代表 渡辺純子

大垣工業、商業、南高の諸先生方のお話を伺いました。将来自分がどんな道に進みたいか、どんな職種につきたいかで高校を選ぶのが、本当に大切だと云うことです。普通高校へ進学するのは大学へ進学するために行くのです。南高の場合、就職する方は少人数なので就職にはとても不利です。授業の他に1日4時間は必ず勉強しないと、大学進学も大変だとお聞きしました。高校だけで就職するつもりなら、職業高校へ進むべきで、沢山の科の中から自分に合ったものを選んで、専門的なことを学び、将来に役立てるのが一番良いようです。作る側と使う側では色々な点でちがってくるから、よく研究して進路を決めてください。工業、商業高も大学に進む道があることを知って、将来に向かってがんばってくださいと、お話がありました。

充実した冬休みの生活をするには……

これだけは守る(生徒)守らせる(保護者)
責任がひとりひとりにある。

輪之内町生徒指導規準(冬季)

遊 �戯 場 (百 貨 店 等)	禁 止	アルバイト, 工場実習	許可制(許可証発行)
ボウリング場	禁 止	外 遊 び 自 転 車	日没以後は禁止 (サイレン午後5時)
自販機, ゲームコーナー インベーダーゲーム	禁 止		ヘルメット, 夜は夜光ダ スキ着用
映 画	学校推薦以外は禁止		制服, 生徒手帳携帯
喫 茶 店	保護者同伴の場合はよい	釣 り	保護者同伴の場合はよい
お 好 み 焼 屋	同 上	ローラースケート	道路上は禁止
玉 突	禁 止	バッティングセンター	保護者同伴の場合はよい
ス ケ ー ト 場	保護者同伴の場合はよい (午後4時まで)	た こ あ げ	電線の近くでは, たこあ げをしない
登山, スキー, 小旅行	届け出る		

1. 自主的生活態度を伸ばそう。

- ・冬休みの生活のめあてをたてる。
- ・生活の記録を毎日書く。

・夜行だすき, 正しい自転車の乗り方をする。

2. 家庭における人間関係を深めよう。

- ・あいさつ(気持よく)を進んでする。
- ・話し合い(何でも話そう)をもつ。
- ・楽しみ会(ともに遊ぼう)をする。
- ・共同作業(ともに汗を流そう)をする。
- ・TV, ラジオは, 番組をよく選んで。

5. 町民の宝である生徒を, みんなの力, 連携プレーで非行防止をする。

- ・電話 3115 輪之内中学校へ
- ・わが子も, 他人の子も注意しよう。叱ろう。

3. きびしいムチと, するどいブレーキを。

- ・善悪の判断を正しくする。
- ・きまり(私のためにある)を守る。
- ・健全な交友関係をもつ。
- ・自分自身をきびしく。=ムチをうち, ブレーキをかけよ=
- ・危険な遊びはしない。

6. 過分なお年玉やプレゼントは大人の無知?

- ・ものやお金を大切にし, 浪費させないように。
- ・計画的な買い物をしよう。

7. みんなで調査・点検しよう。

- ・外出, 服装, 外泊, 深夜はいかい。
- ・たまり場, 遊び場, 交友関係。
- ・ゲームコーナーでの遊び。
- ・バイクなどの運転。

8. 輪之内町生徒指導規準の厳守

- ・わたくしから, まず守る

4. 交通ルールを守る。(自分の命を守る)

- ・自転車の並進, 2人のりの禁止。